

先程は3名の意見発表がありましたが、考えや思いがはっきりと伝わってくる素敵な内容でした。挑戦し、きちんと振り返っていたことがとても嬉しいです。

2学期は、8月20日から始まり、例年より多い87日間の学校生活でした。学校行事や生徒会活動、部活動、テスト勉強等、忙しい日々だったと思います。でも皆さんは、他人をきびしくとがめだてせず、よく人を受け入れる寛容の心に努めてくれました。おかげで、はじめの認知を0（ゼロ）と捉えています。また、体育大会や学習発表会等、様々な活動を通して、感謝の気持ちや成長する姿を保護者や地域へ数多く示してくれました。

本当にありがたく思っています。

さて、明日から、冬休みに入ります。冬休みのしおりを使いながら、計画を立てたことと思いますが、私からのお願いごとを1つお話しします。それは「自分と向き合う1人での時間を大切にしたい」ということです。

先日、新聞で、新型コロナウイルスの影響を受けて大学に通うことができない大学生の1句を目にしました。その句は、「向き合った コロナの期間 無駄じゃない」（繰り返す）です。暗くなりがち最近の風潮の中、自分や将来のことを前向きにとらえている姿勢が心に響きます。振り返れば、今年の今頃は「3密」という言葉はなく、伸び伸びと気兼ねなく過ごせる時期でした。しかし現在は、時間や空間等を気にして、人との距離を考えて接することが求められ、窮屈さを覚えます。でも反面「自分の時間をもちやすい」とも言えます。ゲームやSNSも悪くはないですが、日頃じっくりと向き合えないこと、例えば「将来の夢や憧れの実現に向けて、生活や性格のどのようなところをどう改善してみればよいのか」とか「地域や家族の一員として、どのような言動を行えば、より喜んでもらえるのか」また「苦手とする教科の難しい問題に、粘り強く立ち向かってみる」など、たとえ答えが出て来なくても、腐らず、前向きに思考を働かせてください。自分の人生の主人公は自分自身です。何でも周りの人の言うとおりにするのではなく、自分の考え方や感じ方を振り返り、直すべきところは直して実行してみる。この姿勢は決して無駄ではなく、自らの個性を伸ばすことにもつながるものです。

終わりに2点。

1点目は、3年生の皆さん。進路希望を叶える上で、冬休みは最大のチャンスと言っても過言ではありません。ここを乗り越えることで、春に大輪の花が咲きます。受験勉強に「全集中 武士群青と虎視眈々の呼吸」で、とことん頑張ってください。

もう1点は、新型コロナウイルス感染防止の徹底に努めること。医師や看護師等、医療の最前線に立つ方々は、半端ではない緊張と不安の中、強い使命感で仕事に従事しておられます。

「うつらない」よりも「うつさない」の心で、自分と周りの大事な人を守るため、検温や手洗い、外出や会話時のマスク着用、社会的距離の確保等を行うことが、誠実で最大の寄り添いとなります。高い道德性を求める、井波中学生の底力に期待します。

それでは皆さん。新年には心を新たに、7日の始業式では笑顔で登校してくれることを信じて、私の式辞とします。よいお年をお迎えください。終わります。